

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス事業所 ななせ

公表日 令和7年2月28日

利用児童数 20人(兄弟児含む)

回収数 19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2		2	比較的室内は広いと思います。外の庭も 広くて良いと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		3	ちょうどいいと思います。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			3	宿題をするスペースなどわかりやす くなってると思います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1			過ごしやすくなってると思います。	
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	19				受けれてると思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	16			3	合ってると思います。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されて いると思いますか。	19				作成されてます。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	19				色々な項目が設定されていて良いと思 います。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19				行われてます。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	18			1	されてると思います。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	4	2	5	8	あまりそのような機会はないと思 います。	コロナやインフルエンザなど感染症等 の影響もあり、なかなか地域の子 ども達との交流の機会は設けられ ない状況です。今後イベント等の 活動を通して、少しずつでも交 流する機会が設けられればと思 います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	19				事前にきちんと説明がありました。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	19				説明されました。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	13	2	2	2	行われてます。	講演会等の情報提供はお知らせを 配布し実施しております。事業所 内での研修会は保護者説明会を 活用して実施しております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況 について共通理解ができていると思いますか。	19				できてると思います。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19				行われてます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				支援されてると思います。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設け られるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	3	6	あまりよく分かりません。保護者 説明会しか集まれる機会がないの が少しさみしいですね。今年行 われた交流会良い機会と感じま した。	保護者説明会は定期的 に実施しておりますが、ごきょう だいの方々の交流会等の支援は 行っておりません。今後検討でき たらと思います。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていま すか。	18		1		対応されてます。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19				連絡ノートが活用されてます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	4	1	4	H P や S N S 等での発信はありません。	法人全体のホームページ上に当事業所の情報が記載されていますが、あまり知られていないようなので、今後は皆様にわかりやすく発信できたらと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19				されてると思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2		1	できてると思います。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			1	できてると思います。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		1	できてると思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			1	できてると思います。子供が怪我をした際には事業所からの連絡、保健等の説明などわかりやすく行っていただきました。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19				できてると思います。毎日楽しく通所しています。お友達と会えるのを楽しみにしており、長時間いれる日はとても喜んでおります。いつも本当にありがとうございます。	お子様やご家族が安心感を持って過ごせる場所と感じていただき、とても嬉しく思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17			2	できてると思います。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				できてると思います。	ご利用の皆様が当事業所の取り組みに関しご理解いただきとても有難く思います。今後も皆様に喜んでいただけるサービスに取り組んでお子様の支援にあたっていきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス事業所ななせ		公表日		令和 7年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	中庭や畳の部屋、地域交流ルーム等を活用し、スペースの確保に努めている。	一日の利用者数が12名等の場合は、動きの激しい子や動けない子が混在し注意が必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		配置加算を行うなど児童の活動に職員が配置する事ができている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日設備の消毒などを行い、清潔を保っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		安全面に配慮しつつ、ある程度隔離された空間で過ごすことが出来ている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	面談やスタッフ間の会議等を総合し一人一人に合った支援目標・プログラムが立てられている。支援プログラムについては、法人のホームページ上に今年度中に公表予定。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			一人一人の子どもをスタッフ間で検討し、どのようにしたら自発性、自主性を向上できるか支援出来ている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		相談事業所とは密に連絡を取り合い、お子様の情報共有を行い連携を取っているが、医療等その他の関係機関との連携が難しいので、今後改善が必要。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		担当の相談員の方からの情報提供や継続した統一支援が必要なお子様に関しては、そのお子様が利用されていた児童発達支援事業所との情報交換を行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3		担当の相談員の方へ、そのお子様に関して今後配慮すべき点について情報提供を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		地域の子ども達との交流が持てる機会がなかなか持ててない。以前実施していたマルシェ等を開催して地域との交流の場が持てればと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		研修会等のお知らせを配布し情報提供を行っている。また今後、保護者説明会を活用して家族支援の研修を実施予定。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	保護者説明会の開催や講習会等の情報提供を行い、保護者同士で交流できる機会を設けている。	きょうだい同士で交流する機会は設けていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	3		SNSは活用していない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	コロナ以前はマルシェを開催していた。来年は行う予定。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		マニュアルに関しては職員へ周知しているが、保護者へは一部のものしか周知を行っていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	医師の指示書はないが、アレルギーについては保護者と連絡をとっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	ご本人への説明が困難なお子様に対しては、保護者へ十分な説明を行い、了承を得ている。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 ななせ		
○保護者評価実施期間	令和6年11月21日		令和6年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	令和6年11月21日		令和6年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の子どもに対するアセスメントをしっかりと行い、一人一人に寄り添った支援を実施。	個別支援及び全体支援についてスタッフ全員参加の会議を毎月実施。また、日々終了後すぐにスタッフ間で情報共有を行い、翌日朝礼で報告検討を実施。また、随時個別の会議を行い支援について早期対応に心がけている。	職員研修の充実化。研修の参加率の向上。 個別の重要案件に関する会議の頻度の増加。
2	子ども達が過ごしやすい室内空間や室外空間を確保し、のびのび楽しく過ごせる場所を提供。	室内の部屋を区切ることによって個別配慮が行いやすく、各活動に応じたスペースなど構造化に取り組んでいる。中庭の活用により、余裕をもった空間で安全面に配慮しつつ、子ども達がのびのびと身体を動かして過ごすことが可能。	子ども同士がバランスよく室内空間、室外空間を活用し、怪我とトラブルなく過ごせるようにサポートを行う。 一人一人の子どもの特性に合わせた環境設定の細分化。
3	保護者との子ども達に関する密な情報共有や共通理解。相談事業所や学校との情報共有。	日々の連絡帳の活用や送迎時の直接対応及び電話等により、その日の様子や気になる点などを保護者へ報告相談を行い情報を共有。また、定期的な面談も実施。学校や相談事業所とは、随時情報共有を行っている。	それぞれの主治医等の医療機関との連携。
4	作業療法士による個別リハの実施。	専門職（作業療法士）による個別の専門的支援の強化（希望者のみ個別に計画を立て実施）	協力医療機関（王司病院）のサポートの強化。
5	職員間での情報共有の徹底。職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げている。	日々の個別ケース記録作成、日々の開始前ミーティング及び終了後の振り返り。休みスタッフへの引継ぎノートの活用。月2回のスタッフ全員参加の個別支援及び全体支援会議実施により、職員全員の情報共有・共通理解の下で子どもの支援を実施。	記録時間の効率化。（筆記以外のIT機器の活用） 職員の増員。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSでの発信を行っていない。 ホームページの認知度の低さ。	職員のSNSの知識が乏しく活用が難しい。 他の優先すべき業務に時間がかかってしまう。 (人員不足)	現代のニーズに合った発信方法を活用する為の職員研修。 職員の増員。
2	地域の子供達や他事業所との交流が出来ていない。	以前は法人主催のマルシェを開催していたが、コロナ等の感染を理由に高齢者施設が併設されていることもあり、感染症対策として地域や他施設との交流が難しい。	規模を縮小した放デイだけのイベントの検討。 リモートでのzoom等を活用した非接触での交流。
3	保護者同士の交流の場やきょうだい向けのイベント等の家族への支援の不足。	年一回の保護者説明会でのみ保護者同士の交流の機会がない。法人開催のマルシェがコロナの影響で何年も開催されなくなった。 平日のみの開所なので、イベントや交流の開催が難しい状況。	ご家族が参加できるイベント等の情報提供を増やしていく。 保護者説明会以外で保護者同士が交流しやすい機会を設ける。 長期休暇時のおでかけ活動への保護者の自由参加（保護者は現地集合現地解散）や、事業所内行事の保護者見学等の検討。
4	地域の福祉や医療等との連携不足	相談事業所とは連絡を取り合っているが、医療等その他の関係機関との連携が難しい。 他事業所の協力体制が不十分。	医療機関が開催する勉強会への参加などから連携作りを実施。 他事業所との連携を図りつつ定期的な交流会を行い、各問題に対しての情報を共有。